

移住・定住促進に向けた具体的な取り組みについて

◎子育て世帯住宅取得奨励金

市外から転入し、本市へ定住を希望する中学3年生以下のお子様がいる子育て世帯が住宅の取得や増改築をした場合に、約50万円(対象となる経費やお子様の数に応じて増減があります)の奨励金を交付します。

これまでに子育て世帯住宅取得奨励金を利用し、32世帯131名の方が転入されました！



◎快適遠距離通勤補助金

市内にお住まいで、JR大月駅を起点に上り方面に75km以上の距離を定期券を利用し、電車通勤をされている方に対して、月額10,000円(富士急行利用による加算有り)の通勤費の助成を行います。

これまでに快適遠距離通勤補助金を利用し、累計27名の方の定住に繋がっています！



◎空き家バンク・空き家 リフォーム補助

市内に空き家を所有され、物件の売却や賃貸の希望がある方に登録をしていただき、市のホームページに掲載し、空き家を購入したい方や借りたい方に情報を提供するものです。また、空き家バンク制度をとおして契約が成約した際に、リフォームにかかる費用の一部を助成する制度もあります。

これまでに空き家バンク制度により、41件の物件が有効活用されました！
※各補助事業には交付対象となるための条件があります。詳細はお問い合わせ下さい。



◎移住・定住相談センターの運営や移住イベントへの出席

移住希望者の相談対応や『お試し居住』を行える『都留市移住・定住相談センター』を平成27年度に開設し、運営しています。また、広く都留市のことをPRするため、積極的に東京都内などで開催される各種移住イベントへの参加や市内を案内する『つる知るツアー』を実施しています。

こうした取り組みにより、平成28年度以降、5組8名の方が移住され、600名を超える本市への移住を検討されている方の名簿を確保しています！



■『つる知るツアー』のようす(農業見学)

～移住先として選ばれ、ずっと住み続けたいまちとなるために～

人口減少を克服していくためには、移住者の取り込みだけでなく、住む人々にとって魅力あふれるまちづくりを進めていくことが必要です。教育や子育て環境の充実、健康で活気あるコミュニティの創出、高齢者の生きがい・やりがい作りなど多世代が豊かに暮らせる『ひと集い学びあふれる生涯きらめきのまちつる』の実現に向けて、オール都留で様々な取り組みを推進していきます！

『生涯活躍のまち・つる』に関する事業提案を募集します

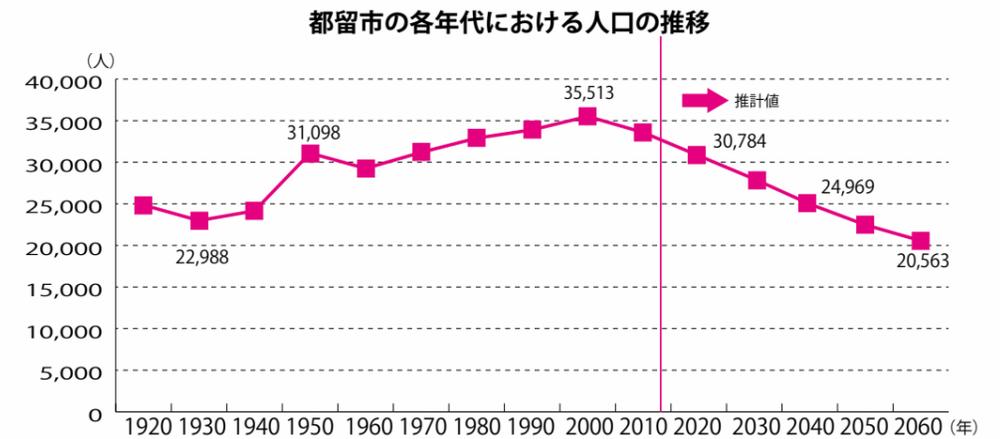
本市ではこれまで市民の方や事業者を交えての都留市CCRC構想研究会を重ねてきました。今後、民間の力をさらに活用し、『生涯活躍のまち・つる』のまちづくりの検討を進めていくため、本事業に対する事業提案を広く募集します。施設整備や医療・介護・健康づくり、移住・入居者へのサービス全般など、テーマや様式は自由ですが、提案内容を書面にまとめたうえで1月31日(水)までに担当まで郵送またはご持参ください。

問合せ 企画課 つる創生推進室

～人口減少社会を乗り越え “生涯活躍のまち・つる”の実現に向けて～

地方自治体では少子高齢化や若者の流出など様々な要因から人口が減る『人口減少社会』という問題を抱えています。本市も2000年の35,513人をピークに既に人口減少は始まっており、このままでは10年もかからず30,000人を切る見込みです。人口が減ることにより、地域活力や経済の衰退、さらに税収の減少による財政負担の増大など、行政機能そのものにも影響が及ぶ可能性もあり、市民の皆さまに関係のない話では決してありません。

こうした問題を克服するため、本市では『生涯活躍のまち・つる』事業や、『移住・定住』施策を重要施策として位置付け、様々な事業に取り組んでおり、ここではその一例をご紹介します。市民の皆さまには、地域として移住者の受け入れや空き家情報の提供、また、移住やUターンを検討されている親族や知人の方へ市の取り組みや魅力を伝えていただくなど、都留市の取り組みへのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。



『生涯活躍のまち・つる(大学連携型都留市版CCRC)』

都心へのアクセスや自然環境の良さ、3つの高等教育機関があるなどの独自の強みを活かし、住む人々が生涯にわたり学び、健康で生きがいを感じられるまちづくりを進めることにより、地域の活性化や交流人口の拡大、健康寿命の延伸などを目指します。また、事業の核として2つのプロジェクトによる『サービス付き高齢者向け住宅』の開設については、入居者となる市民や移住者と地域住民の多世代交流の場としての役割や、福祉や介護分野での新たな雇用の創出、地場産業における開発促進・異業種連携を含む産業振興が期待されます。



■サービス付き高齢者向け住宅に改修される旧雇用促進住宅下谷宿舎(つる5丁目)。平成30年に改修し、平成31年度の開設を予定しています。

■新たに田原4丁目に建設予定のサービス付き高齢者向け住宅や交流施設などのイメージ図。平成30年度以降に事業者公募を予定しています。

